

1. 三重県 2. 京都府 3. 兵庫県 4. 滋賀県

1. 湖の周辺に設置されていた堤防が日本海側からの高潮によって決壊し、滋賀県北部を中心に家屋の流出が相次いだ。	2. 大阪湾からの逆流を防ぐために水門を閉鎖した結果、琵琶湖の出口が完全になくなり、京都市内が長期間冠水した。	3. 琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる70戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。	4. 湖の干拓事業が進んでいたため、雨水を貯める機能が低下しており、短時間の雨で急激に水位が上昇して農地に塩害をもたらした。
---	---	--	--

1. 丹後半島 2. 津輕半島 3. 薩摩半島 4. 志摩半島

1. 観光需要は増加したが、土地不足の影響で宿泊施設の建設が全く行われず、客室稼働率のみが低下した。
2. 東京都の客室稼働率が最も高くなったため、大阪府では過剰な供給を抑えるために客室数が減少した。
3. 外国人宿泊者数は増加したが、日本人宿泊者の激減により客室稼働率は低下し、宿泊施設の廃業が進んだ。
4. 観光需要の増加に伴って客室稼働率が向上し、それに合わせる形で宿泊施設の供給も拡大した。

1. 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。
2. 鉄道網の整備により、大阪府から周辺の府県へ通勤・通学する流れが、流入する流れを上回っている。
3. 大阪府の昼間人口が多いのは、主に港湾施設での物流作業に従事する人々が周辺府県から集まるためである。
4. 大阪府は、奈良県や兵庫県に住む高齢者が医療や福祉サービスを受けるために昼間のみ移動してくる都市である。

1. 三重県と滋賀県 2. 京都府と福井県 3. 和歌山県と奈良県 4. 兵庫県と大阪府

1. 宿泊施設の総数が多い府県ほど、歴史的資源の数に関わらず観光目的の宿泊者の割合が必ず高くなる。	2. 重要文化財などの歴史的資源が豊富な府県ほど、宿泊客全体に占める観光目的の利用者の割合が高い傾向にある。	3. 歴史的資源が豊富な府県であっても、宿泊客の多くはビジネスや業務を目的とした利用者が大半を占めている。	4. スキー場などのレジャー施設の数が多い府県ほど、重要文化財の数に比例して観光目的の宿泊者が増える。
---	--	---	---

1. 大規模な干拓事業によって琵琶湖の面積が縮小したため、現在は漁業よりも稲作を中心とした農業が産業の主体となっている。	2. 森林面積が県域の多くを占めているため、漁業や農業の生産額よりも林業産出額が統計上で最も大きな割合を占めている。	3. 海に面していない内陸県であるため、海面漁業は行われず、漁業生産のすべてが琵琶湖や河川などの内水面で行われている。	4. 日本海に面した若狭湾を利用して海面漁業が行われているが、統計上は琵琶湖の淡水魚と合算して表記されている。
--	--	---	---

1. 宇宙センターを誘致し、島内での高度な専門職雇用を創出する制度
2. 漁業を廃止し、島内すべての就業者を製造業へ転職させる制度
3. 島外へ通勤するための交通費や高速道路料金を補助する制度
4. 島内の農地をすべて住宅地に転用し、固定資産税を免除する制度

1. 環状道路 2. 放射状の街路 3. 門前町の迷路 4. 碁盤の目

1. 兵庫県 2. 奈良県 3. 和歌山県 4. 滋賀県

1. リアス海岸 — 伊勢志摩国立公園 2. リアス海岸 — 瀬戸内海国立公園 3. フィヨルド — 知床国立公園 4. 砂丘海岸 — 山陰海岸国立公園